

平成28年熊本地震支援派遣職員インタビュー

熊本地震を受け現地に派遣された下京区役所の職員が当時を振り返りました

私が卒業した看護大学では、災害対応人材の育成に力を入れており、授業で災害時に何が出来るか考える機会が多かったため、何か力になれることがないかと以前から考えていました。

現地では、益城町の避難所で治療の必要な方を把握し、災害医療チームに引き継ぐといった業務を行っていました。避難者には、出血している方や持病のお薬が切れた方など緊急対応が必要な方もおられました。また、不安から相談中に涙をこぼす方もおられましたが、お話をじっくり聞くことで、普段、精神保健福祉業務に従事している専門職として、知識・経験を生かした寄り添った支援ができました。まさに、保健師ならではの活動だったと思います。

今回の活動をきっかけに区民の皆さまには、改めて災害時の備えの大切さをお



健康づくり推進課 高橋めぐみさん 4月22日から26日まで派遣

伝えたいです。妊産婦、乳幼児のいる家庭や持病のある方などは、一般的な非常用品に加え、生活上の必需品もいざという時のために備えていただけたらと思います。



(写真左から2人目) 地域力推進室 山下貴史さん 4月26日から30日まで派遣

避難所である熊本県立熊本北高校の体育館で支援活動に従事しました。避難所開設当初の4月16日の晩は、避難されてきた方が700～800人おられ、避難者の方々の布団が敷きつめられ、体育館の床も見えない状態で通路もなかったそうです。

多くの避難者の方が避難所生活を長く続けることにより、苛酷な生活を強いられている実態がよく分かりました。毎食決まったメニューの繰り返し、畳やマットの上での睡眠、プライバシーのない日常など全ての方がよく耐えておられました。余震が続く中、避難者の方々がまるで大家族のようにお互いに声を掛け合い、助け合っておられたので、つらいことでも苦しいことでもなんとかやってこられたのではないかと思います。避難者の方には、1日でも早くこのような不自由な避難所生活から解放され、いつもの日常生活を取り戻していただきたいと思います。

下京区運営方針を策定

下京区では、平成23年4月に区民の皆さまとともに策定した「下京区基本計画」を推進するため、年度ごとに重点的に取り組む施策・事業の方針・内容と区役所改革の取り組みなどを掲げた「下京区運営方針」を策定しています。

平成28年度は、次のような事業に取り組みます！

○「健康長寿のまち・下京」をめざします！

健康づくりに関する情報発信、健康教室、食育セミナーなどを通し、区民一人ひとりが「自分ごと」として健康への意識を高め、主体的に取り組むことをめざします。



○安心安全なまちをつくります！

「下京区版運動プログラム」に基づいて、まずは、区内で大きな課題となっている自転車盗難、万引き被害件数の大幅な減少に向けて取り組んでいきます。



○みんなのつながりで「子育て」環境を育みます！

区民が安心して子育てできる環境づくりをめざして、親子のふれあいの場や子育て家庭への訪問など、多様な取り組みを進めます。



○賑わいを下京区から発信していきます！

4月に京都鉄道博物館が開業し、ますます賑わいを増している京都駅西部エリア、多くの区民が心待ちにしている市立芸大の移転先である京都駅東部エリアなど、エリアごとに特色のあるまちづくりを進めます。

詳しくは下京区役所ホームページをご覧ください。

☎ 地域力推進室総務・防災担当 (☎371-7164)

平成28年熊本地震の被害に対する義援金を受付中

受付場所 区役所、地下鉄駅、市図書館他 ☎ 地域力推進室まちづくり推進担当 (☎371-7170)

めざせ!エコイベント

ごみの減量や環境意識の向上をはかり、イベント経費も、環境への負荷も軽くしましょう！

●「京都市認定エコイベント」登録でエコ化をPR!

「京都市認定エコイベント」のほりやロゴを使って、分かりやすくアピールできます。

●賢く使おう!「リユース食器」助成金制度

「繰り返し何度も使えるリユース食器」の導入費用に対する助成制度を設けています。

対象イベント	自治会などが、市内で100食以上の飲食品を提供するリユース食器を使ったイベント(※)
助成内容	リユース食器導入費用の2分の1(上限50万円)
助成対象	リユース食器のレンタル費用など(ただし、食器の破損などの補償金は対象外)
助成申請	申請受付は原則としてイベント開催日の2週間前まで
その他	リユース食器は、リース事業者からレンタルして使用

※京都市認定エコイベントへの登録要

●分別リユースごみ箱でしっかり分別!

イベントでのごみの分別を推進するため、イベント時の分別リユースごみ箱の貸し出しを実施しています。



☎ 下京エコまちステーション (☎366-0186)

ごみ減量の取り組みに関する助成制度

①コミュニティ回収登録団体募集

対象 地域で自主的に古紙類・古着類・缶・びんなどを回収する概ね20世帯以上で構成する住民団体
募集数 全市で300件
助成内容 チラシの作成や資源物の回収に必要な費用
助成額 年間上限1万5千円(応募時期・回収品目により異なる)

②使用済てんぷら油回収登録団体等募集

対象 家庭から排出される使用済てんぷら油を定期的に回収する住民団体・個人
募集数 全市で60件
助成内容 チラシの作成や油の回収に必要な費用
助成額 年間上限2万円(応募時期・回収拠点数により異なる)

③落ち葉等堆肥化活動団体募集

対象 落ち葉等の堆肥化を行う概ね10世帯以上で構成する住民団体
募集数 全市で30件
助成内容 チラシの作成や堆肥化活動に必要な費用
助成額 年間上限5万円(初年度)

申込み 区役所にて配布中の申込書で、①②平成29年3月31日(金)、③2月28日(火)までに(必着)。いずれもその他に要件・審査有。

「有害・危険ごみ」や「資源物」を身近な場所で回収します

移動式拠点回収の実施について

実施日	時間	場所
6月25日(土)	午前10時～正午	洛央小学校(正門前)
7月9日(土)	午前10時～正午	元植柳小学校(南門)

回収品目例

「有害・危険ごみ」…石油類、薬品、漂白剤や酸・アルカリ洗剤など洗浄剤等
「資源物」…小型家電(30cm×40cm×40cm以下)、使用済てんぷら油、CDやビデオテープなど記憶媒体類、乾電池など

回収品目など詳しい内容については、エコまちステーションやまち美化事務所までお問い合わせください。



☎ 下京エコまちステーション (☎366-0186)
南部まち美化事務所 (☎681-0456)